

# M5StickCPlusで、リアルタイム測定

---

M5StickCをWifiのアクセスポイントにして、測定値をスマホで表示します。

## 機材

M5StickCPlus ToF HAT

## 作成方法Plus

- Arduion IDEエディタをインストールする。
- [こちらのサイト\(英語\)](#)を参考に、ライブラリをインストールする。
- Arduino IDEのライブラリマネージャから、M5stickC Plus用のライブラリをインポートする。
- Arduino IDEから、M5stickC Plusに書き込めるように、準備する。[こちらのサイト](#)等を参考に。
- 書き込めば、使えるようになります！

## 使い方

必要なライブラリを読み込む。

※非同期処理に関するライブラリは、マネージャからはインストールできないので要注意。

.ino のファイルを、ESP32に書き込む

spiffに、dataの中のデータを書き込む

wifiから、192.168.20.2にアクセス

→windowに、indexと入力

→windowにhtmlのファイル名を打てば、そのサイトに飛ぶ。

## 参考にしたサイト

- [ESP32/ESP8266 Plot Sensor Readings in Real Time Charts – Web Server](#)  
ネットワークまわりのコードで参考にしました。
- [プログラミング講座 第13回【テトリスを作る\(1\)/JavaScript】](#)  
htmlのCanvas機能の学習で使いました。グラフ描画のコードでは、かなり参考にしています。